

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）概要

1 テーマ 人と湖沼の共生 —持続可能な生態系サービスを目指して—

2 趣旨概要

人が湖沼と共に生きていき、生態系から得られる恵みである生態系サービスを将来にわたって持続的に享受するためには、どのようなことに取り組むべきなのかを、住民、農林漁業者、事業者、研究者、行政など湖沼に関わりを持つ全ての人々が、情報の共有、意見交換を行う。

3 会議の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 主催者 | 茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC） |
| (2) 共催・後援 | 国、流城市町村、大学、研究機関、市民団体等 |
| (3) 会期 | 平成30年10月15日（月）～19日（金） |
| (4) 会場 | |
| メイン | つくば国際会議場 |
| サテライト | 霞ヶ浦流域や湖沼沿岸等の拠点施設 |
| | ・開閉会式、基調講演、分科会、政策フォーラム等 |
| | ・環境関連行事 |
| (5) 会議構成 | 基調講演、分科会、政策フォーラム、霞ヶ浦セッション、湖沼セッション、学生（青少年）会議、いばらき霞ヶ浦賞授賞式、展示会、エクスカージョン等 |
| (6) 会議の公用語 | 英語及び日本語 |
| (7) 参加者・規模 | 市民、研究者、企業、行政担当者 4,000名 |
| (8) 参加料 | 有料 |
| (9) 会議テーマ | I 生態系サービスの現状と課題 |
| | ①生物多様性と遺伝資源 |
| | ②淡水資源の確保 |
| | ③湖沼の水質と浄化機能 |
| | ④水辺や地域の文化 |
| | ⑤流域活動と物質循環 |
| | II 持続可能な生態系サービスに向けた取組 |
| | ①科学的知見に基づくモニタリング |
| | ②持続可能な生態系サービスに向けた対策・技術 |
| | ③統合的湖沼流域管理（ILBM） |

【世界湖沼会議について】

富栄養化など湖沼や貯水池をとりまく環境問題について、世界各国の研究者、市民、行政担当者等が一堂に会して情報と経験の交流を図る場として、昭和59年（1984年）にわが国の滋賀県で始まったもの。